

令和元年 9 月 26 日

市政記者各位

福岡市美術館

特別展 ギュスターヴ・モロー展 サロメと宿命の女たち

10/1（火）9時から開会式開催

レストランでコラボメニューもスタート！

福岡市美術館では、下記のとおり、特別展「ギュスターヴ・モロー展 サロメと宿命の女たち」の開会式を開催します。ぜひご取材ください。

開会式概要

日時：2019（令和元）年 10 月 1 日（火）9:00～9:20（開場は 8:30）

場所：福岡市美術館 特別展示室前（2 階）

内容：主催者紹介、来賓紹介、主催者挨拶、テーブルカット等

※一般開館は 9:30～。開会式中は、一般来場者は入場できません。



《一角獣》 1885 年頃
ギュスターヴ・モロー美術館蔵
Photo © RMN-Grand Palais / René-Gabriel
Ojéda / distributed by AMF

展覧会概要

タイトル	ギュスターヴ・モロー展 サロメと宿命の女たち
会期	令和元年 10 月 1 日（火）～11 月 24 日（日）9:30～17:30 ※10 月の金・土曜日は午後 8 時まで（入館は閉館 30 分前まで）
休館日	毎週月曜日 ※ただし 10/14（月・祝）、11/4（月・振休）は開館。10/15（火）、11/5（火）は休館
観覧料	一般 1,500 円、高大生 800 円、小中生 500 円 ※前売りは 200 円引

コラボメニュー

展覧会にあわせ、会期中限定で当館 2 階レストラン プルヌスにて「ギュスターヴ・モロー展」スペシャルコース（税抜 3,000 円）をお楽しみいただけます。

《出現》をイメージしたオードブルや、《一角獣》のユニコーンをモチーフにしたカップケーキ等、出展作品をイメージした料理にご期待ください。



スペシャルコースには、オードブル、スープ、肉料理、デザート、ブレッド 2 種、コーヒーが含まれます（予定）

その他にもイベントを開催予定です。イベントの詳細は「福岡市美術館」HP にてご確認ください。

【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館運営部 学芸課（担当：忠・岩永）

問合せ：092-714-6053

彼女たちの物語、
彼女たちとの物語。

ギュスターヴ・モロー展

サロメと宿命の女たち



Gustave
Moreau

Salomé and the femme fatale

2019.10/1 | 火 | — 11/24 | 日 | 休館日：毎週月曜日
※ただし10/14(月・祝)、11/4(月・振休)は開館。10/15(火)、11/5(火)は休館

観覧料：一般1,500円(1,300円)、高大生800円(600円)、小中生500円(300円)

※()内は前売りおよび20名以上の団体、満65歳以上の割引料金。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料

チケットは、ローソンチケット(Lコード:83054)、チケットぴあ(Pコード:769-772)、セブン-イレブンほか主要プレイガイドで販売中。
※会期中の電子チケットは当日料金での販売となります。電子チケット購入の際に各プレイガイドによって各種手数料が発生する場合があります。ご了承ください。



福岡市美術館
FUKUOKA
ART
MUSEUM

Gustave
Moreau

Salomé and the femme fatale



彼女たちの物語、
彼女たちとの物語。

ギュスターヴ・モロー展

サロメと宿命の女たち

2019.10/1 | 火 | — 11/24 | 日 | 休館日：毎週月曜日
※ただし10/14(月・祝)、11/4(月・振休)は開館。10/15(火)、11/5(火)は休館

主催：福岡市美術館、西日本新聞社、TNCテレビ西日本、TVQ九州放送 特別協賛：大和ハウス工業 協賛：光村印刷、ふくおかフィナンシャルグループ
特別協力：ギュスターヴ・モロー美術館 企画協力：NHKプロモーション 協力：日本航空
後援：在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、西日本鉄道、九州旅客鉄道



福岡市美術館 開館時間：午前9:30～午後5:30 ※10月の金・土曜日は午後8:00まで開館 ※入館は閉館の30分前まで
TEL 092-714-6051 FAX 092-714-6071 www.fukuoka-art-museum.jp 〒810-0051 福岡市中央区大濠公園 1-6

《出現》(部分) 1876年頃/油彩・カンヴァス/ギュスターヴ・モロー美術館蔵 Photo ©RMN-Grand Palais / René-Gabriel Ojéda / distributed by AMF

《一角獣》(部分) 1885年頃/油彩・カンヴァス/ギュスターヴ・モロー美術館蔵 Photo ©RMN-Grand Palais / René-Gabriel Ojéda / distributed by AMF

神秘と幻想に生きたパリの隠遁者、ギュスターヴ・モロー

ギュスターヴ・モロー（1826－1898）は、フランス象徴主義を代表する画家です。19世紀末のパリで、精神よりも物質を、宗教よりも科学を重んじる気運が高まる中、「目に見えるものは信じない」と、神話や聖書の世界を描き続けました。

古今東西の装飾モチーフを取り入れ、幻想的な作品の数々を生み出したモロー。その素顔は謎めいており、「パリの真ん中に隠れ住む神秘家」とも呼ばれました。

本展では、そんなモローの描く女性像に焦点を当て、代表作《出現》（1876年頃）、《一角獣》（1885年頃）を含むギュスターヴ・モロー美術館所蔵の油彩・水彩・素描など約100点を紹介します。

代表作《出現》が14年ぶりに来日！

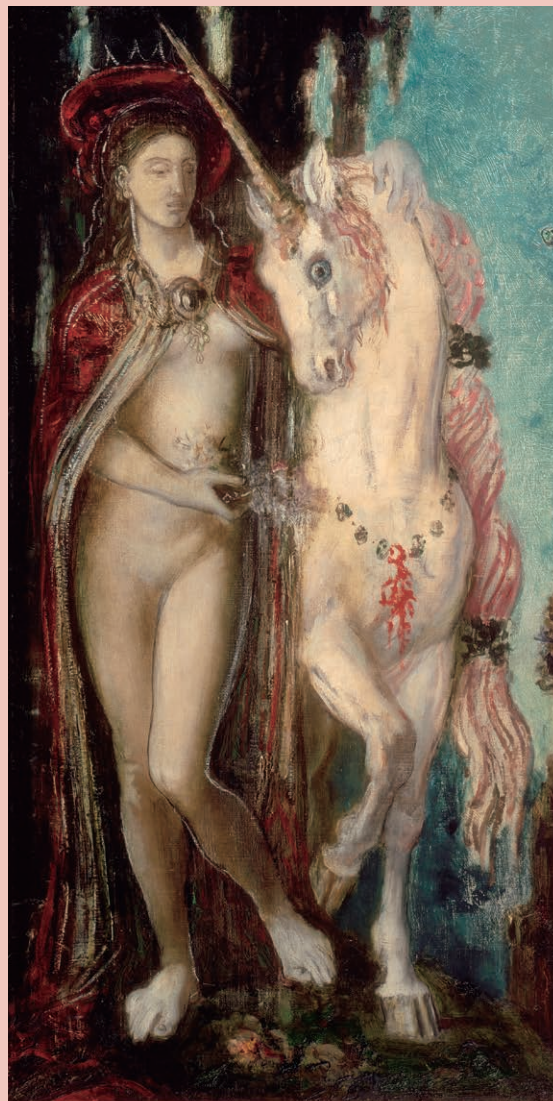
《出現》に描かれているのは、新約聖書に登場するユダヤの王女、サロメです。サロメは、捕えられていた洗礼者聖ヨハネに恋するものの、その思いは拒まれ、舞の褒美としてヨハネの首をねだった女性として知られています。しかしこれはオスカー・ワイルドの創作で、本来は母親にそそのかされてヨハネの首を求めたにすぎませんでした。

モローは、血を滴らせ宙に浮かぶヨハネの首とそれを見つるサロメを描き、ワイルドに先立ちこの物語に新しい切り口を与えました。

ヨハネを指差すサロメの力強い立ち姿はファム・ファタルの代表格としてのサロメ像を打ち出し、世紀末芸術の女性像に影響を与えました。



2. 《出現》1876年頃／油彩・カンヴァス／142×103cm



3. 《一角獣》1885年頃／油彩・カンヴァス／78×40cm

二人のミューズと清らかな乙女

モローの創作の源泉に迫る手がかりとなる、母・ポーリーヌと恋人・アレクサンドリーヌ。素描やメモからは二人とモローの親密な関係を伺い知ることができます。

二人への憧憬や愛情に導かれるように、モローは純潔の乙女の姿、彼女たちの遊ぶ楽園を宝石のような色彩で描きました。



4. 《アレクサンドリーヌ・デュルー》石墨・紙／26×18cm

Gustave Moreau
Salomé and the femme fatale



5. 《セイレーン》油彩・カンヴァス／38×62cm



6. 《エウロペの誘拐》1868年／油彩・カンヴァス／175×130cm

運命を狂わせ破滅へと導く悪女

聖書や神話に登場するサロメやスフィンクス、セイレーンたちは、男たちを虜にする魅力を放ち、ときに破滅へと導く危険な存在。モローはいわゆるファム・ファタル（宿命の女）である彼女たちの物語に独自の解釈を施し、重層的なドラマを生み出しました。



7. 《サロメ》1875年頃／油彩・カンヴァス／80×40cm

すべて ギュスターヴ・モロー美術館 蔵 1,2,4,6 Photo ©RMN-Grand Palais / René-Gabriel Ojéda / distributed by AMF 3,7 Photo ©RMN-Grand Palais / Christian Jean / distributed by AMF 5 Photo ©RMN-Grand Palais / Philipp Bernard / distributed by AMF

関連イベント

講演会 「ギュスターヴ・モローのサロメ」

日時：10月6日（日）午後2:00～3:30（予定）
講師：喜多崎 親（成城大学教授）
会場：福岡市美術館 1階ミュージアムホール
定員：180名（要事前申込み）
申込締切：9月15日（日）必着
※聴講無料。ただし本展鑑賞券もしくは半券の提示が必要。



講演会 「モローが愛した女たち～怪物から乙女まで～」

「怖い絵」シリーズで人気の中野先生特別講演決定！



日時：10月27日（日）午後2:00～3:30（予定）
講師：中野京子（作家・ドイツ文学者）
会場：福岡市美術館 1階ミュージアムホール
定員：180名（要事前申込み） 申込締切：10月5日（土）必着
※聴講無料。ただし本展鑑賞券もしくは半券の提示が必要。

応募方法：はがきまたはメールで受付。ご希望のイベント名、郵便番号、住所、参加者全員の氏名（ふりがな）、電話番号、参加人数（1通につき最大2名まで受付可）を明記のうえ、下記宛にお申込みください。

申込み・お問合せ先：
〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞イベントサービス内「モロー展・講演会」係
E-mail: moreau_fuk@nishinippon-event.co.jp TEL 092-711-5491（平日午前9:30～午後5:30）

※2名で応募される場合は、それぞれの氏名を明記してください。 ※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。 ※当選者の発表は聴講券の発送をもってかえさせていただきます。 ※ご応募の際にいただいた個人情報は、本イベントの連絡にのみ使用させていただきます。

ギャラリートーク 事前申込不要

怪物のような悪女編 10月11日（金）午後6:00～

純潔の乙女編 11月9日（土）午後3:00～

昼の美術館では乙女を、夜の美術館では悪女を紹介しながら、担当学芸員が皆様をモローの世界にナビゲートします。

※各1時間程度。聴講無料ですが、当日の本展鑑賞券が必要です。いずれも開始5分前に特別展示室前にお集まりください。



音声ガイドのナレーションは石坂浩二さんです。

ご自身もモロー絵画のファンでいらっしゃるという石坂さんに、展覧会をナビゲートしていただきます。
貸出価格：600円（税込）／所要時間：約30分



〈福岡市美術館へのアクセス〉
福岡市地下鉄：[空港線] 大濠公園駅（福岡市美術館口）下車、徒歩10分
[七隈線] 六本松駅下車、徒歩10分
西鉄バス：[系統番号13・140] で「福岡市美術館東口」下車、徒歩3分
[系統番号6・7・12・113・114・200～206・208] で「赤坂三丁目」下車、徒歩5分
[系統番号6-1] で「福岡城・NHK放送センター入口」下車、徒歩3分
車：福岡都市高速「西公園ランプ」から5分／福岡市美術館専用駐車場（有料：1時間200円）利用時間：午前9時～午後9時（開館日のみ）
※週末、祝日等は大変込み合います。公共の交通機関をご利用ください。

お問い合わせ 福岡市美術館 TEL 092-714-6051 FAX 092-714-6071
〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
https://www.fukuoka-art-museum.jp/

九州・山口のアート情報サイト「アルトネ」
ARTNE アールトネ artne.jp
モロー展情報も更新！

Institut Français
AMBADE DE FRANCE
JAPON

